



Press Information

VPR16-079

2016年11月21日(月)

フォルクスワーゲン グループ ジャパン 株式会社

フォルクスワーゲン、「ラリー・オーストラリア」で1-2フィニッシュ、有終の美を飾る

- ミケルセン選手がオジェ選手との激闘を制してキャリア3勝目。
- フォルクスワーゲン・ポロ R WRC は、4シーズンで43勝をマークし、WRC に別れを告げる。



2016年世界ラリー選手権(WRC)は、11月17日～20日にオーストラリア東海岸のコフス・ハーバーを中心に開催された「ラリー・オーストラリア」でフィナーレを迎えました。

2013年からWRCに参戦を開始し、4年間にわたりマニファクチャラー、ドライバー、コドライバーの全3部門をすべて独占してきたフォルクスワーゲン・モータースポーツにとって、「ラリー・オーストラリア」が最後の戦いとなります。

フォルクスワーゲン・ポロ R WRC は、52戦43勝、958カ所のスペシャルステージ(SS:競技区間)のうち640カ所でトップタイムを記録、史上最強のラリーカーとして記憶されるでしょう。

このラリーで大活躍したのは、アンドレアス ミケルセン選手。4年連続チャンピオンのセバスチャン オジェ選手と真っ向から勝負し、見事な勝利を収めました。オジェ選手は貫禄の2位、ヤリマティ ラトバラ選手は9位で完走しました。

「ラリー・オーストラリア」は、2009年から東海岸に定着、さまざまなファンサービスにより、WRC 屈指の人気イベントとなっています。アクセル全開で走行する区間があるかと思うと、その直後には木立を縫うワインディングが待っているなど、ひと筋縄では行かないグラベル(非舗装路)イベントです。森林区間では、木々の間から太陽が顔を覗かせてストロボ効果を発揮、濛々と立ち込める土埃と相まって、クルーの視界を奪います。

デイ1とデイ2(金/土曜日)の最終SSは、1.27kmのラリークロス・サーキットで開催されます。並走するラリーカーが豪快なドリフトを見せるシーンは必見です。また、デイ2には、50kmを超える長尺SSが待ち構えています。2016年「ラリー・オーストラリア」の総走行距離は1,041.51kmと短めですが、23SSで構成される312.98kmの競技区間はバラエティに富んでいます。

金曜日のデイ1は、コフス・ハーバー南部の11SSが戦いの舞台。2016年タイトルを獲得したオジェ選手は、“栄誉ある”1番スタートとなり、路面清掃を強いられながらも4SSでトップタイム、2番手につきました。チームメイトのミケルセン選手は、オジェ選手を上回る5SSでトップタイムをマーク、他の

SS でもトップ 3 フィニッシュを連発して、オジェ選手に 15.4 秒の差をつけて暫定首位の座に就きました。一方、ラトバラ選手は、オープニング SS でスライドアウト、リア・サスペンションを破損して 7 分の遅れを強いられました。

デイ 2、SS16 で波乱が起きました。ミケルセン選手が岩にヒットしてフロアを壊し、アクセルとブレーキが交差したまま走行を強いられた結果、それまでに築いたリードのほとんどを吐き出すことになりました。ソフトタイヤを履くギャンブルが功を奏したオジェ選手との差はわずか 2 秒に縮まりました。ミケルセン選手がランキング 2 位を確保するには、現ランキング 2 位のティエリー ヌーヴィル選手（ヒュンダイ）に 13 ポイントの差をつけなければなりません。したがって、優勝だけではなく、ボーナスポイントが獲得できるパワーステージで首位を獲得する必要があります。

最終デイ 3 では、フォルクスワーゲン・ドライバー同士のスリリングな戦いが期待されましたが、オジェ選手が SS20 でまさかのスピン。これで 20 秒を失い、ふたりの戦いに決着が付きました。ミケルセン選手は、ランキング 2 位獲得はなりませんでした。3 位でシーズンを終えています。

[終了後のコメント]

■ フォルクスワーゲン モータースポーツ ディレクター: スヴェン スミーツ

「1-2 フィニッシュで有終の美を飾ることができました。チームが一致団結し、最後の瞬間までプロ意識を貫いた結果です。ラリーチーム・スタッフはもちろん、開発チーム、後方支援部隊、パートナーに感謝の意を表します。」

■ カー#1: セバスチャン オジェ(フランス) 最終結果: 2 位

「左コーナー出口ではらんでしまい、スピンを喫しました。土埃が酷すぎて、ルートを見極めるまで時間がかかりました。2 位に終わりましたが、フェアにバトルをした結果なので悔いはありません。」

■ カー#2: ヤリマティ ラトバラ(フィンランド) 最終結果: 9 位

「オープニング SS のアクシデントで大きなハンディを負ってしまいましたが、その後は SS を楽しむことができました。1-2 を達成したアンドレアスとセバスチャン、おめでとう！」

■ カー#9: アンドレアス ミケルセン(ノルウェー) 最終結果: 優勝

「フォルクスワーゲン・ドライバーとして最後の戦いに是が非でも勝ちたかったので、本当に良かったです。ランキング 2 位にはなれませんでした。フォルクスワーゲンに勝利をプレゼントできたことがすべてです。」

■ FIA 世界ラリー選手権 第 13 戦ラリー・オーストラリア最終結果

1. アンドレアス ミケルセン/アンダース イェーガー(フォルクスワーゲン)	2 時間 46 分 05 秒 7
2. セバスチャン オジェ/ジュリアン イングラシア(フォルクスワーゲン)	+14 秒 9
3. ティエリー ヌーヴィル/ニコラス ジルスル(ヒュンダイ)	+1 分 12 秒 6
9. ヤリマティ ラトバラ/ミーカ アンティラ(フォルクスワーゲン)	+7 分 56 秒 9

■ FIA 世界ラリー選手権 マニファクチャラーズ選手権ランキング(2016 年最終結果)

1. フォルクスワーゲン・モータースポーツ	377
2. ヒュンダイ・モータースポーツ	312
3. フォルクスワーゲン・モータースポーツ II	163

■ FIA 世界ラリー選手権 ドライバーズ選手権ランキング(2016 年最終結果)

1. セバスチャン オジェ(フォルクスワーゲン)	268
2. ティエリー ヌーヴィル(ヒュンダイ)	160
3. アンドレアス ミケルセン(フォルクスワーゲン)	154
6. ヤリマティ ラトバラ(フォルクスワーゲン)	112

* 結果はすべて暫定。